

広報



しべつ

萌える海と大地

さわやか交流郷



今月の主な内容

- “しべつ”ってどんなまち?!
直撃インタビュー **総集編**
- 「北方領土の日」根室少年弁論大会
- 「地震でバツと点灯」懐中電灯を考案
- 人 ズーム・アップ

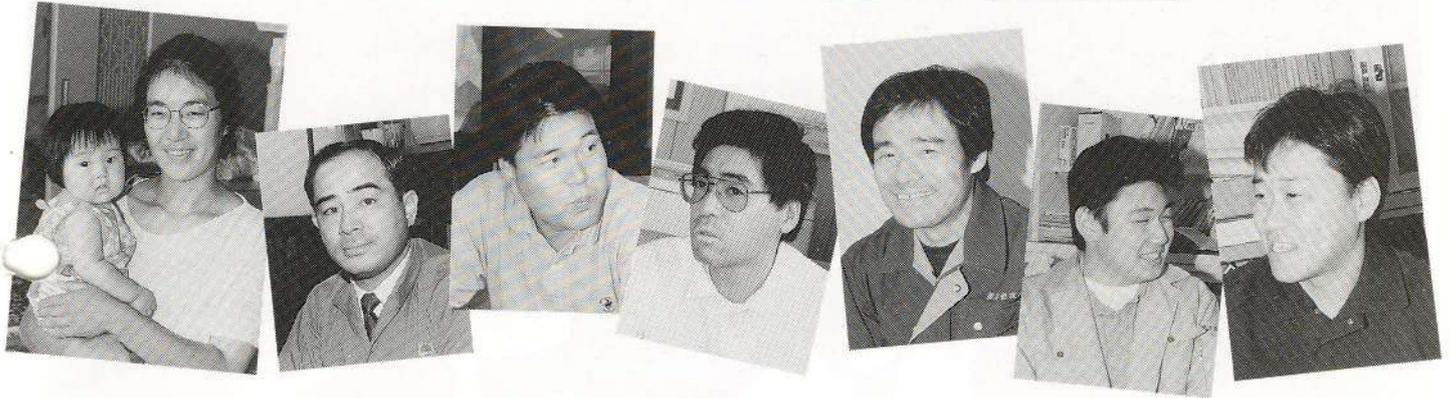
寒さを吹き飛ばせ!

好天に恵まれた2月11日、鳩ヶ丘グランドで行われた「しべつ冬まつり」は、たくさんの人でにぎわいました。

子ビツ子たちも氷滑りや宝さがし、もちつきに歌と、元気な歓声が会場いっぱいに響きわたりました。

ってどんなまち?!

知っているようで 意外と知らないの自分たちのまち



新企画として昨年三月号からスタートした「しべつ」ってどんなまち?!」直撃インタビュー。

この企画は、海外・国内と様々な研修事業が行われ、それぞれの目で標津町を見つめ直す機会があります。逆に初めて「しべつ」に住んだ人の目には、自分たちのまちがどう写っているのか…。

新町民の方々に「しべつ」のイメージや提言など、感じたままに気軽に答えてもらい、今後の標津町のまちづくりを進めるうえ

で、参考にしようというもので、今月号でちょうど一年を迎えました。

そこで今月号では総集編として、今までインタビューに答えてくれた方々の意見や提言をまとめてみました。

なお、この企画は今月号をもって終了させていただきます。

インタビューに答えていただきました十四人の皆さんご協力ありがとうございました。

「しべつ」に住む前の「しべつ」のイメージは?

- 蕨別川の鮭と国後島の見えるまち。
- サケのまち。
- 漁師さんのまち。
- 知床やトドワラへの通過点のまち。
- 漁業中心のまち。あまり活気がなく、過疎化が進んでいるまち。
- 通りすがりのイメージ。
- まったく知らなかった。
- 都会にはない、のんびりとしたまち。

「しべつ」の第一印象は?

- 集落がまとまっていて、人口の割には、まちっばいまち。
- 静かなまち。国後島がすぐ近くに見える、国境を感じた。
- 緑いっぱい、広大な大地、自然に恵まれている。
- 住みやすいまち。人のぬくもりを感じた。
- 人通りがなく、さびしいまち。

実際に住んでみてどうですか?

● 少なく、気候も比較的暖か

い。まちの人は皆さん温かく親しみやすい。

● 人口の割には活気がある漁師まち。

● 自然に恵まれ、サーモンパークやポー川史跡自然公園がすばらしい。

● 体育・文化・福祉施設が人口規模からいえばかなり整備されている。

● 水がすこくおいしい。

● 山に行けば山菜、川や海では魚と、自分で体を動かせばすぐ手に入る。都会にはない、お金で買えないぜいたくができる。

● 年中、魚釣りができて最高。

● 日曜日にほとんどの商店がお休み。仕方なく中標津に買い物に行ってしまう。せめて半分位は交替制で開けてほしい。商店もお客さん側に立った工夫を。

● 漁業と酪農のまちといいながら街並みを見渡してもイメージがわからない。

● 街並みがさびしい。もっとにぎわいがほしい。

「サケにこだわったまちづくり」については?

● 「サケの水揚げ日本一」をもっとPRすべき。自分もここに来るまで知らなかった。

● サケのまちと言いながら、サケ

直撃インタビュー

新しく 町民になった方に 聞きました!

『しべつ』

外から見た「しべつ」は…?



を売っている魚屋さんがいない。食べたいと思っても買えなかった。初めは中標津に買いに行っていた。

●まず消費者に「しべつ」のサケを食べてもらうことが先決。

●施設ではサーモンパーク、イベントではサーモンダービーやあきあじまつりなどと、サケのまちにふさわしい取り組みだと思ふ。

●町の封筒の色がサーモンピンクと、全国でも例がない。インパクトがありイメージアップにつながっている。この位のこだわりがあっても良い。

——「しべつ」の観光については?

●せっかく人がたくさん来ているのだから、通過点にとどまらず、宿泊させる観光努力を。

●実際に漁業と酪農を体験してもらおう「体験ツアー」はどうか。

●「国後島の見えるまち」を全面に押し出し、何か出来ないか。サーモンパークをもっとPRすべき。また、サーモンパークの案内表示がわかりづらい。地元の人にはわかるだろうが、もっと大きな看板を何カ所かに設置しては。そうすればたまたま通り

がった観光客も足を運ぶのではないか。

●観光に限らず、市街地の案内看板がない。

●漁業のまちなのだから、例えばサケのフルコースなど、とにかくうまいものを食べさせてくれるお店がほしい。

●しべつの搾り立てのおいしい牛乳を飲ませたり、チーズ料理などを食べさせるお店を。

●サーモンパーク付近にオートキャンプ場を。

●せっかく広いきれいな海があるのだから、ただ見ているだけではなく、釣りたい。釣り人口が年々増えていることに注目し、釣りや民宿をセットにしたようなことも考えれば通過型から滞在型の観光資源になるのでは。

——イベントについては?

●いつもお客さん側に回らないでイベントに積極的に参加すべき。

●身内が楽しむだけでなく、他のまちから参加してもらえるイベントに。

●イベントはアイデア次第。人はおもしろいと集まる。

●イベントは分散させないで、何日かまとめて実施しては。

●盛り上がっているのではないかと団結力があり、みんな和気あいあいとやっていて楽しい。

●サケを釣り上げるサーモンダービーは豪快そのもの。もっとPRすべき。どのイベントもPR不足ではないか。

——「しべつ」に望むことは?

●これからもサケにこだわったまちづくりを継続的に進めてほしい。

●もっと町内活動を大切にして、人と人との交流をもつように。これがイベントなどの盛り上がりにつながるのでは。

●子供たちが自由に遊べる場所が市街地にほしい。

●せっかく体育、文化施設などが整備されているのだから、町民は有効利用を。

貴重なご意見、提言など、ありがとうございました。今後のまちづくりに、参考とさせていただきます。

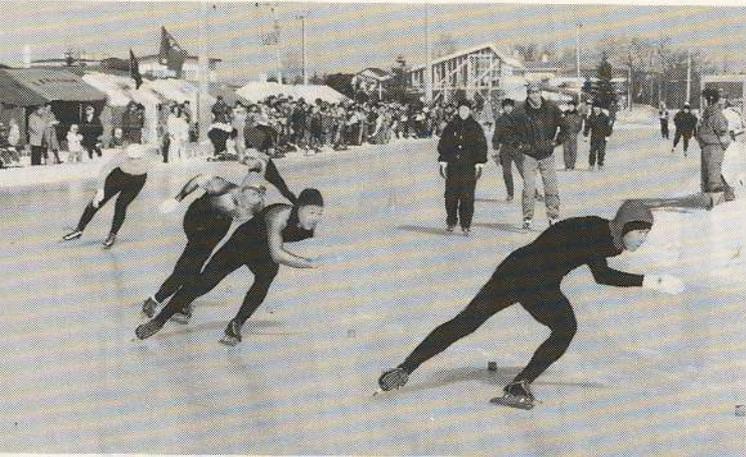
好記録が続出

―標準スプリント―

二月十一日、標準町営スケートリンクで第十八回標準スプリント選手権大会（標準スケート協会主催）が行われ、根釧管内から小学生約四百五十人が参加し、白熱したレースを繰り広げました。

競技は小学一、二年生は五百Mと同三年から中学生は五百Mと千Mの合計タイムを競いました。

この大会では十二の大会新記録が出るなど好記録が続出、標準勢も活躍しました。



白熱したレースとなった標準スプリント選手権大会

また、お昼には標準スケート少年団育成会のお母さん方が選手や応援に駆けつけた方々にあきあじ鍋の無料提供を行いました。寒い中とあって、暖かい鍋が人気を呼びました。

成績は次のとおりです（本町の選手のみ紹介。三位まで）。

【男子】

▽小学二年五百M ① 蛭山洋介▽同三年総合 ② 大石昭彦▽同五年総合 ① 大石卓哉 ② 五百・千M大会新 ③ 佐賀勇太▽同六年総合

【女子】

▽小学三年総合 ① 黒沢文恵▽同四年総合 ① 新居夕貴▽同五年総合 ① 大野弥生 ② 五百M大会新 ② 戸田喜子



好評だった少年団育成会のお母さん方によるあきあじ鍋の無料提供

元気に長くつアイスホッケー



冬を楽しむ

―薫別で氷上運動会―

「冬をみんなで楽しもう」と二月四日、薫別小中学校（高橋政昭校長）と同校PTA（梅木勝美会長）の共催で氷上運動会が同校グラウンドのリンク場で行われました。

競技種目は氷上ボーリング、みかん拾い、カーリング、長くつアイスホッケー。

お母さん方による温かいココアやおしるこ、カボチャ・イモだんごの差し入れもあり、子供たちは大喜び。親子や地域の人たちで楽しい冬の日を過ごしました。

熱気ムンムン

―老人カルタ大会―

町老人クラブ連合会（渋谷辰雄会長）主催の老人下の句カルタ大会が一月二十六日、町農村環境改善センター和室で行われました。

大会には町内の各老人クラブ六チーム二十三人が参加。団体戦のトーナメントで行われ、会場は熱気にあふれ、元気な掛け声が響きわたりました。

また、標準寿会が甘酒やみかんの差し入れを行い、喜ばれました。成績は優勝が北標準Aチーム、二位古多糠Aチーム、三位北標準Bチームとなりました。



気が入ったカルタ大会

寄贈されたワゴンタイプの入浴車



ワゴンタイプの入浴車寄贈される

―24時間TVチャリティー―

24時間テレビ「愛は地球を救う」でおなじみの日本テレビ、24時間テレビチャリティー委員会からこのほど、寝たきりのお年寄りや身障者の在宅での入浴にと入浴車が町に贈られました。

以前にも同委員会から入浴車が贈られ使用していましたが、年数とともに故障がちなため、この度ひと回り大きいワゴンタイプが新たに贈られました。

町福祉保健課では「性能が良く、浴槽も広くなり、使いやすくなった」と喜んでいます。

「いつまでもお元気で」
標津小6年生がはまなす苑を慰問

1月25日、標津小学校（細見浩校長）の6年生58人全員が、家庭科の授業の一環として、特別養護老人ホーム標津はまなす苑を慰問し、お年寄りを励ました。

手作りのプレゼントや
リコーダー演奏も披露

この活動は、家庭科の授業として「家庭と地域のふれあい」をテーマに行われました。

慰問には児童がそれぞれミシンを使って作ったティッシュカバーと励ましのメッセージカードをもってはまなす苑を訪れ、このカードには「授業でカバーを作りました。ちょっと変だけど使ってください。どうかいつまでも長生きしてください」と書かれていました。

児童はグループに分かれ苑内の各部屋を訪れ、プレゼントを手渡し、受け取ったお年寄りは「子供が来るとうれい。カバーは大事に使います」と笑顔いっぱい。

また、児童も「やさしい、おじいちゃん、おばあちゃんばかり」「昔のおもしろい話をしてくれ楽しかった」とお年寄りとの交流を楽しんでいました。

このほか、児童によるリコーダーで「四季の歌」を演奏、「真室川音頭」などをいっしょに歌うなど、お年寄りを喜ばせました。



入所者に励ましのメッセージカードを読んであげる児童たち

地震で
パッと点灯

深夜の地震に備えた
懐中電灯を考案

篠田さん

震度二から三の地震の揺れで自動的にスイッチが入る懐中電灯などを町内弥栄町の篠田静男さん（41才・旬篠田興業勤務・常務取締役）が昨年暮れに考案し、すでに特許と実用新案を申請しており注目されています。

考案したのは三つあり、まず、懐中電灯用の①「電池型地震感知センサー」で原理はいたって簡単。電池と同じ太さの塩化ビニール管を同じ長さで切断し、二つ割りに。中に小さなスプーン状の金具の受け皿を取り付け、パチンコ玉のような鉄球を乗せるだけ。この管の

「東方沖地震」で
明るさの大切さを痛感

両端には電池の極板を張っており、地震で鉄玉が受け皿から落ちると電流が流れる仕組み。外形は電池と同じで、これを電池一本の替わりに懐中電灯内に入れるだけでいい。

このほかに②「震度感知付き懐中電灯」と③「壁用スイッチボックス」があり、いずれも①のセンサーと原理は同じ。②は市販の懐中電灯の外部に③は室内灯のスイッチ板の裏側にそれぞれ透明のプラスチックのボックス内に①と同様に受け皿に鉄球を乗せたもの。

この三つは、何度か実験を重ね、震度二から三以上の揺れで電灯がつくように、受け皿の形を工夫しました。

これを考案するきっかけとなったのは、一昨年の釧路沖と昨年の東方沖地震。特に東方沖地震では「室内はめっちゃめっちゃ。気持ちも動転していて暗やみの中で懐中電灯を探すのは大変だった。この時、灯りの大切さを改めて痛感した」と話す篠田さん。

原理はストロブの耐震装置に目をつけたという。篠田さんは「簡単に安くできるので製品化も考えています」と張り切っており、現在もこれとは別に新たな防災用機器も考案中だといいます。「それはまだ秘密です」と話しています。



▲篠田さんが考案した「電池型地震感知センサー」（左）と「震度感知付き懐中電灯」



▲地震と同時に室内灯がつく「壁用スイッチボックス」も考案

寒さを吹き飛ばせ 船曳き競争や大ビンゴ ゲームに歓声!

～しべつ冬まつり～

二月十一日、しべつ冬まつりが鳩ヶ丘グラウンドで開かれ、親子連れなどでにぎわいました。

会場には流水をあしらったメー
ン雪像のほか、各職場がつくった
雪像が立ち並び、その中で、子供
宝探しやビンゴゲーム、もちつき、
子供歌謡選手権が行われ、子供た
ちは大喜び。

また、漁協、商工会の婦人部、青
年部らによる「こまい汁」「ホタテ

焼き」「焼き鳥」「雑煮」などの
味覚模擬店も開かれほか、標津
産の活ホタテの即売会も行われ
人気を集めました。

夜には今回初めての開催とな
った雪中船曳(ひ)き競争が行
われ、これは一チーム六人が障
害を設けたコースに漁船を曳く
勇壮な競技で、白熱したレース
が展開されました。

会場を訪れた町民は、厳しく
なった寒さを吹き飛ばす楽しい
冬の一日を過ごしました。

あなたの骨大丈夫?

しべつ健康まつり

400人で
にぎわう

「あなたの骨大丈夫?」をテーマ
に、しべつ健康まつり(町主催)が
二月五日、町農村環境改善セン
ターで開かれ、約四百人が会場を
訪れにぎわいました。

最近、カルシウム不足から骨
の密度が減少し、折れやすくなる
骨粗しょう症の患者が増えている
ことから今回は「骨」がテーマ。

四十歳以上の女性を対象とし
た骨密度の測定も行われ、長
い列ができました。

このほか、農協、漁協婦人



主婦の関心を集めた健康食品の
試食コーナー

部や町栄養士会などの健康食
品試食コーナーのほか、健康
相談、歯科検診、エキノコッ
クス症検査などの各コー
ナー、エアロビクス、健康ク
イズも行われました。

また、午後からは健康づく
り推進員や町職員によるオリ
ジナルの健康劇「骨粗しょう
症をふっとばせ!」「頑張れ!
おばあちゃん」も披露され、
その熱演ぶりに会場から大き
な歓声があがり、おおいに盛り
上がりました。

参加者は楽しみながら健康
づくりの知識を深めました。



たくさんの人でにぎわった
「健康まつり」



人気を集めた「骨密度測定」の
検診コーナー

メイン雪像の氷滑り台は子供たち
でいっぱい



白熱したレースが展開された船(ひ)曳き競争

領土への思いを訴える

「北方領土の日」 根室少年 弁論大会

「北方領土の日」

の二月七日、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（会長・大矢根室市長）主催の根室少年弁論大会が根室商工会館で開かれ、管内の中学生十人が参加し、北方領土へのそれぞれの思いを訴えました。

本町から参加したのは、川北中二年の笹木かほりさんと薫別中一年の中村心平くんの二人。

審査の結果、笹木さんが根室支庁教育長会長賞に、中村くんが千島居住者連盟理事長賞に輝きました。

二人の発表要旨を次のとおり、ご紹介します。

昨年の交流キャンプで北方領土のロシア人の女の子と友達になりました。

私が彼女から教えられたのは、言葉が通じなくても、どんなに日本語が下手でも、何かを相手に伝えたいという気持ちがあれば身振り手振りや伝えていることができるということでした。こんなに大切なことを教えてくれるなんて思いもせず、とても印象深いものになりました。

最初は「言葉も通じない人たち

度このような交流会に参加してみたいと思っている人もいます。

しかし、この思いを実現させるということは不可能ではありませんが、国境というたった一本の線があるために、とても難しく複雑なものになっているのではないのでしょうか。

東方沖地震では、根室や釧路でも大きな被害を受けましたが、北方四島ではそれよりもかなりひどい被害を受けたようです。私も交



『ロシア人との 交流を通して』 川北中二年 笹木かほり

との交流なんて」と思っていた私ですが、この一人の女の子に出会ったことで考え方がまったく変わってしまったことに私自身驚きました。それと同時に自分とはまったく関係のないと思っていた「国際交流」がこんなに身近にあるということを知り、とてもうれしく思い、いろいろなことを学ぶことができました。

一泊二日という短い「ロシア人との交流」でしたが、この交流に参加した人たちの中にも、もう一

流キャンプで友達になった人たちのことが心配だったので、被害状況や消息は詳しくわかりませんでした。それは国境という一本の線のためです。

一刻も早く国境を取り除き、お互いに協力して生活していかなければと思います。それが本当の国際交流であり、私は国際交流の場が一日も早く来るように北方領土の返還を願っています。

北方領土が日本に返還されたらどうなるでしょうか。

一部では、ホテルや空港ができ、活気ある観光地になるかも知れません。そうなる他から見ると、すばらしい場所だと思われるかも知れませんが、実際には、膨大な自然環境の破壊に過ぎないと思うのです。

それに北方領土だけではなく、島への輸送のため、道東の国後島に面している海岸を港にしなればなりません。そうすると、ぼく

のです。そして、島民のことを考えなければなりません。例えば、もし、ぼくたちが住んでいる家から突然「出ていきなさい」と言われたらどうなるでしょうか。家を出てから新しい家を探すのとても苦労するし、住み慣れた場所から離れるのは、とてもつらいことだと思います。

だから、島民やロシア側の立場も考えて話し合いをしなければならぬと思います。

以上の点を克服して、今の良い



『北方領土を 考える』 薫別中一年 中村心平

の住んでいる辺り全体は、どんどん汚れていくに違いありません。ただでさえ、地球規模で自然環境の破壊が進んでいる今、リゾート開発をしようとすると人の手に渡らたらどうなるでしょう。

リゾート開発という名のもとに木の伐採が進み、土地がやせ、海や川も汚れ、自然の生態系が狂い、最後には人間の住めない土地になってしまいかも知れません。

ですから、ただ単に北方領土返還だけを訴えるだけではいけない

自然環境を保てるようにすれば、北方領土は日本に返還されなくても良いと思います。

現在の美しい自然環境を保つことはとても難しいことですが、いつも一人ひとりが自然環境を考えて、生活することによって、自然破壊を最小限におさえることが必要です。

この四島が日本にとって最も誇れる場所、世界でも最も注目される美しい島々になることをぼくは望みます。

時事川柳

いじめたい相手もない僻地校 地震発生初めて知る警戒区域
 八十路来て己が歯で割る梅のタネ 焼け跡に水仙手向けご冥福
 カルシウム密度計りし食を替え 聖心^(大*)で恩師皇位^(大*)と同席^(大*)
 誰の罪自己喪失と大地震 綾取りを孫にせがまれ昔にかえる
 気の病い大空に飛躍己に勝つ 二歳児は涙ポロポロ自己主張
 陽がさして心明るく寒修業 啓^(大*)塾^(大*)に義理堅い雪中^(大*)むし^(大*)春の舞
 特売場ザアノマス婦人の見栄と欲 「春たなめ」穴あき靴がそう言った
 カメ^(大*)向^(大*)く常連白馬^(大*)ホースする 発生^(大*)から権威が語る地震予知
 顧みて過去の与野党気にしない 必要悪^(大*)じげで領土が混とんし
 危機管理攻める野党は元与党 この男^(大*)田^(大*)満^(大*)だけの無責任

ヒガミ屋(古多糠) 大西 牛歩(茶志骨) 今泉 慎子(弥栄町) 戸村 寿生(住吉町) 太田 明人(茶志骨) 管野 政勝(北古多糠) 布施惣一郎(弥栄町)

みんなの広場

皆さんの声を—
このコーナーに
お寄せください

問題

次の〇〇に文字や数字を入れて
ください。

- ① 町の木は〇〇〇〇〇
- ② 町の花は〇〇〇〇〇
- ③ 町技は〇〇
- ④ 町の面積は〇24・38²km
- ⑤ 平成7年2月1日現在の町の人
口は〇、〇〇〇人
- ⑥ 北方領土「国後島」と標津町の
距離は2〇km

広報クイズ?!

すてきな商品が当たる!

- ⑦ サイモン科学館の展望塔の高さ
は〇6m

■あて先
標津町字標津3-5
役場広報統計係内
広報クイズ係まで

答えは、ハガキに住所、氏名、年齢と町や広報に対するご意見、感想など記入の上、3月13日(当日消印有効)までに役場広報統計係まで送付してください。

※正解者のうち、抽選で10人の方に高級シャープ・ボールペンをプレゼントします。

「広報しべつ」 特派員募集中!

町民サイドからの取材をしてみませんか?

「広報しべつ」では、4月号から新年度を迎えるに当たり、新しい企画を考えています。

その一つとして、「広報しべつ」の特派員を募集しています。

この特派員は、町民サイドに立った視点でいろいろと取材してもらおうというもので、当然広報紙の中の記事として掲載します。町民が今、最も行政に対し知りたいことや、興味があることなどテーマは自由です。

なお、広報の担当者もお手伝いします。
多数の応募をお待ちしています。

☆詳しくは—
役場広報統計係 ☎2-2131
(内線110)へ。

ご意見・感想、時事
川柳、イラストなど
お寄せください

このコーナーでは、町や広報紙に対する意見や要望、感想などをお待ちいたしています(ただし、人や団体の中傷となるものはご遠慮ください)。

皆さんの声のページとして、お気軽にお便りをお寄せください(本人の希望により匿名も可)。また、時事川柳やイラストなども募集しています。

▽あて先
標津町字標津3-5
役場広報統計係「みんなの広場」コーナーまで。

ズーム・アップ

人

▶ 5 ◀



根室さわやか農村 環境コンクール

最優秀賞

根室支庁営農指導対策協議会（会長・清野満根室支庁長）主催の根室さわやか農村環境コンクールの表彰式が2月15日、根室市内のホテルで開かれ、本町の酪農家・岩倉保夫さんが見事、最優秀賞に輝きました。

岩倉 保夫さん(57)

=西北標津=

『すばらしい自然に恵まれている。だからこそ、清潔な環境のもとで生活したい』

根室管内は、急速な規模拡大による家畜飼養頭数の増加に伴い、ふん尿による河川などへの影響が懸念されています。このため、環境と調和した農業と酪農地域の豊かな自然を生かした環境づくりを推進している農家を顕彰し、農村づくりの意識改善に資することを目的に同コンクールが今年初めて実施されました。

今回のコンクールでは、全体景観や住宅周辺環境、ふん尿処理環境などをポイントに、根室管内の各市町から推薦のあった十二の農家を審査しました。

最優秀賞に輝いた岩倉さんは、妻の信子さんと長女の康子さんの三人で七十ヘクタールの敷地に百三十頭の乳牛を飼養しています。

その農場は生活と生産道路が区分され、堆肥盤、パドックが整備、牛乳処理室や生活雑排水は合併浄化槽で処理されており、また、構内の舗装、使用済みのサイロを改造した事務所兼休憩室が設置され

自然環境に配慮した酪農経営で最優秀賞に輝いた岩倉農場



ています。

このほか、住宅周辺には芝生や庭木、花壇を配置するなど、ゆとりと豊かさを感じさせる理想的な農村環境を実現しており、生産と生活環境の整備に積極的な取り組みが評価されました。

そもそも岩倉さんが環境にこだわったきっかけはというと、昭和五十二年にアメリカ、カナダへの酪農先進地視察ツアーに参加したこと。その時見たのは、まず施設周辺一体がきれいな芝生で整備されていることに驚いた。「自分もこんなに良い環境の中で生活でき

るといいなあ」と思った。自宅にもどり、まずやれることから少しずつ、住宅と牛舎の間に花壇を作ったのが始まり。

岩倉さんは「こんなすばらしい自然に恵まれている。だからこそ、清潔な環境のもとで生活したい」と力強く話す。

また、岩倉さんは環境だけではなく、酪農に対する情熱も人一倍熱い。自らの圃場を一つずつ調べ、雑草の分類をするなど、きめ細かな草地管理にも努め、昭和五十四年に農林水産大臣から「造成草地の部」で最高位賞に。さらに平成二年、生産性の高い酪農経営の確立を目指し、乳牛改良と良質な粗飼料の増収に努め、国際化にも十分対応可能な経営が認められ、天皇賞に準ずるといわれている「宇宙宮賞」を受賞したほか、多くの部門で賞に輝いています。

これからの酪農はと聞くと「厳しい厳しいばかりではなく、前向きに努力しなければ」「酪農はゴール無きマラソン。急がず休まずその時代にあった自分の目標地点をつくり、到達したらまた上の目標に」と語る岩倉さん。

「自分の城は自分で守る」をモットーに、岩倉さんのゴール無きマラソンはこれからも続く。

サークル

紹介

No. 2

『カラオケ三葉会』 みっば



カラオケ指導の様様 (1月27日・中央公民館)

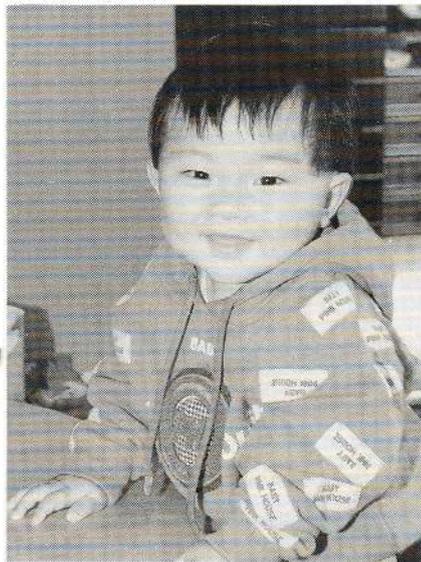
小松(浩洋 二子)さんちの

しゅん

駿 くん

(H6.3.6生)

緑 町 107



☆生まれた時の身長・体重は

身長/50.4cm

体重/3,325g

☆今ではこんなに大きく

なりました。

身長/74.3cm

体重/10.0kg



お母さんからひと言

好奇心旺盛でいつもいたずらばかりしているわんぱく坊主!「ドレミファドーナツ!」が大好きでテレビを真剣に見ています。

元気でのびのびと育ててほしいと思います。

地域安全コーナー ②

～中標津警察署～

◎地域安全活動の取り組み

安全で住みよい地域づくりのためには、自治体(各町)、民間ボランティア(町内会、防犯協会、交通安全協会、地区暴力追放運動推進協議会、少年補導委員連絡協議会など)の方々、そして警察の三者が十分連携の上、それぞれの立場において実効ある活動を進めて行くことが必要であり、今年も計画的に取り組みされていくものと考えます。

この中で、中標津地区防犯協会連合会(地区防)と警察署との主な取り組みを紹介します。

■地域安全ニュースの発行
昨年4月から毎月1回、ワンペーパーで地域の犯罪や事故を「ミニ新聞」様にまとめて作成し、各戸にお知らせしていますが今後

内容の充実を図りながら継続発行します。

■地域安全活動推進委員会制度の発足
昨年10月、地区防の付置機関として、4町で22人の方を委嘱(地区防会長および警察署長名)して発足。勉強会などを経て、今年から防犯協会や町内会、駐在所等と連携を図りながら、犯罪防止活動、犯罪等に強い居住環境活動、困りごと相談活動および地域の安全確保に必要な情報収集活動などに取り組まれます。

■駐在所の「生活安全センター」化
13カ所の駐在所が、それぞれより地域に密着し、犯罪のみでなく各種事故や災害等の予防・防止活動のセンターとしての機能を発揮する施策を検討して取り組みます。

この中で、中標津地区防犯協会連合会(地区防)と警察署との主な取り組みを紹介します。

標津～川北間、バス運行経路一部変更のお知らせ

旧JR標津線の代替路線として標津、川北間を最短距離で結ぶ道路が昨年9月に完成しました。

これにより、本年4月1日からは現在、北標津回りのバス運行を一部残し、ほかは道道川北茶志骨線を通り、サーモンパーク経由の運行となります。

また、北標津線経由のバスについても、標津、中標津方面とも北標津地域の皆様の通学や病院などへの足の確保を重点に考慮し、朝は通学、通院時間に間に合うよう従来どおりとし、また、通学生の下校は早い便と夕方の便、2便とすることになります。

今後の利用について、よろしく願いたします。

なお、運行時刻表は広報しべつ4月号に折り込みをし、お知らせします。

★お問い合わせ先—阿寒バス(株)標津営業所☎2-2155、役場企画振興課☎内線111へ。

バス運行路線図
標津～川北間



4月から育児休業法が、全事業所に適用されます

■1歳未満の子を育てる男女労働者は、事業主に申し出ることにより育児のための休業ができます。

■事業主は、育児休業の申し出や取得を理由として労働者を解雇することはできません。

また休業が「休暇」に該当することから、その取り扱いを就業規則等に記載しなければなりません。

さらに、育児休業をしないで1歳未満の子を育てる男女労働者についても勤務時間の短縮などの措置を実施する必要があります。

■労働省では、4月から雇用保険により育児休業者に対して育児休業給付制度を実施します(育児休業給付制度の詳細については各公共職業安定所へ)。

また、事業主に向けても育児休業関係奨励金制度を実施していますのでご利用ください。

☆ご相談は労働省北海道婦人少年室(☎011-709-2715)へ。

投票日は

4月9日です

北海道知事選挙 北海道議会議員選挙

4月9日(日)は北海道知事選挙・北海道議会議員選挙の投票日です。

あなたの一票が明日の社会を築きます。大切な一票をムタにすることのないようぜひ投票しましょう。

投票時間

▼午前7時から午後6時まで

投票所のご案内はがき

▼投票所をお知らせする「投票所のご案内はがき(選挙入場券)」は、3月中旬に発送いたします。もしも、届かなかった場合や、また、ご不明な点がありましたら役場内選挙管理委員会までお問い合わせください。

不在者投票

▼やむを得ない用事(仕事・旅行・出産など)で、選挙の当日に投票所へ行けない方は、事前に不在者投票をすることができます。

不在者投票をされる方は、印鑑を持参のうえ、選挙管理委員会へおいでください。

選挙の種類	不在者投票のできる期間
知事	3月23日～4月8日
道議	3月31日～4月8日
時	午前8時30分から午後5時まで

▼連絡先

標津町選挙管理委員会(標津町役場内☎2-2131内線105)へお問い合わせください。

～水曜日は休業します～
町営金山スキー場

連日、スキーヤーでにぎわっている町営金山スキー場は、毎週水曜日を休業日としております。お間違いのないようお願いいたします。

★お問い合わせ先——同スキー場 ☎5-2172、役場商工観光課 ☎内線219へ。

☆3月のスポーツ☆

5日(日)

第13回室内ソフトテニス大会
(9時～総合体育館)

6日(月)

▷第10回老人レクリエーションの集い
(9時30分～総合体育館)

13日(月)

▷第7回屋内ゲートボール大会
(9時～総合体育館)

総合体育館が開館 ～ご利用ください～

東方沖地震による被害のため、休館しておりました町総合体育館は、復旧工事が終り、2月18日から開館しました。

皆様の多数のご利用をお待ちしております。

★利用についてのお問い合わせ先——町総合体育館 ☎2-3112へ。

寄付ありがとうございました

●町社会福祉協議会に——

・町消費者協議会・聖友標津支所

(活動資金として)

・安達マサノさん

(香典返しをやめて)

●図書を中央公民館図書室に——

・第一生命弟子屈支部 吉原正子さん

健康相談・健診日程表

〈3月分〉

乳幼児

■乳幼児相談

14日(火)〈標津〉

[9時30分～10時30分/農改センター]

※午前の部 10・13カ月児、
午後の部 4・7カ月児対象

16日(木)〈川北〉

[13時30分～14時30分/川北公民館]

※4・7・10・13カ月児対象

■3才児健診

22日(水)

[13時～14時/役場2階会議室]

■歯ピカ教室

6日(月)・7日(火)

[9時30分～10時30分、13時30分～14時30分/農改センター]

成人

■糖尿病健康相談

15日(水)

[10時～16時/役場相談室]

■一般健康相談

6日(月)

[10時～11時/薫別集落センター、13時30分～14時/崎無異]

31日(金)

[13時～16時/役場相談室]

★健康や検診に関するお問い合わせ・ご相談は、役場福祉課 ☎内線129・131・138にお気軽にどうぞ——。



※農改センター…農村環境改善センターの略

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・ 緑町・弥栄町・曙町	3月2日・3月16日 4月6日 (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	3月3日・3月17日 4月7日 (金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・ 薫別・崎無異・古多糠	3月1日・3月15日 4月5日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

～あなたの財産を確認～ 固定資産課税台帳の縦覧

平成7年度に課税される固定資産税の基礎となる「固定資産税課税台帳」の縦覧を次の日程で行います。

■縦覧期間

平成7年4月3日～4月24日

■縦覧場所

標津町役場・税務課(1階)

所得税の確定申告は 3月15日までです

■平成6年分の所得税の確定申告は、3月15日までとなっています。

期限間近になると税務署や役場の窓口が大変混雑します。申告は早めに済ませましょう。

■申告期間中、税務署・役場では申告の相談に応じています。お気軽にどうぞ。

★根室税務署☎01532-3-3261、役場税務課☎内線118へ。

国民年金保険料が 4月から変わります

■国民年金保険料が平成7年4月から定額1カ月11,700円(付加12,100円)になります。

国民年金制度を健全に運営していくための改定ですので、ご理解願います。

なお、保険料の納付には1年分、または一定期間分をまとめて納めると保険料が割引される有利な「前納制度」があります。また、郵便局・銀行からの口座振替で納付することもできます。納め忘れの解消にぜひご利用ください。

■平成6年度分の保険料の納付忘れはありませんか?今一度お確かめのうえ、未納の方は3月中に納付くださいますようお願いいたします。

また、平成7年度分の納付書は4月上旬に発行されます。

★お問い合わせ先——役場住民課国民年金係(☎130)へ。

年金の説明会を 開催します

平成7年に60才、65才で年金受給資格のある方を対象に釧路社会保険事務所では受給手続きや年金制度についての説明会を次のとおり実施します。お気軽に出席ください。

■日時 平成7年3月13日(月)
13時～15時

■場所 役場2階会議室

なお、対象者には釧路社会保険事務所からハガキで通知されます。

精神保健相談を 行います

痴呆老人の介護やアルコール依存症などで悩んでいる家族、本人を対象に“心の健康”に関する「精神保健相談」を行います。お気軽にご相談ください。

■日時 3月16日(木)
13時30分～15時30分

■場所 中標津保健所

■担当医 市立釧路総合病院
中條囁託医

■申込先 同保健所に事前に電話予約を
☎01537-2-2168へ。

児童扶養手当の支給 年齢が延長されます

■児童扶養手当法の一部が改正され、平成7年4月1日から児童扶養手当の支給対象児童の年齢が「18歳の誕生日を迎える日以後の最初の3月31日までの間にある者または、20歳未満で政令で定める程度の障害の状態にある者」に改定されました。

■この改正で、現在認定を受けている方で、平成7年4月2日以降に18歳の誕生日を迎える児童を養育している場合は、

引き続きその最初の年度末まで支給が受けられます。(新たな手続きは不要です)。

■なお、今回の改正で新たに母子家庭(父がいなか、父が法で定める一定の障害にある場合を含みます)などになり、支給要件が生じた方で平成7年4月2日以降に18歳に達する児童を養育することになった場合にも、受給資格が生じることになりました。

※この場合は、新たに認定を受ける必要がありますので、役場福祉保健課(☎内線137)にご相談ください。

火災から身を守る 避難のコツ

①天井に火が燃え移った時が避難の目安です(初期消火を行っている最中でも必ず避難を)。

②避難はお年寄り、子供、病人を優先しましょう。

③服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。

④炎の中を避難しなければならない時には、躊躇せず一気に走り抜けてください。できれば、頭から水をかぶりぬ

たタオル、シーツ、衣類などで顔や体を覆って避難するのがさらに効果的です。

⑤煙の中を逃げる時は、濡れたタオルなどで口を覆い、姿勢を低くして床をうように(室内なら壁づたい、廊下なら中央を)脱出してください。

⑥無事に避難することができたならば、炎の中には絶対戻らないでください(逃げ遅れた人がいる時には、その旨を消防隊員に、すぐ知らせてください)。

※以上のことを参考に、避難時には人命を最優先させることを念頭におき、有効な避難ができるよう心がけましょう。

—標津消防署—



馴山 洋美さん

(伊茶仁)

=株総合企画勤務=

私は俗に言う『三姉妹』の長女で、専門学校に通う二つ違いの妹と、中学三年生の弟…のような妹がいます。最近になっては母が『私も入れれば四姉妹だ』と、なんとも恐ろしい発言をするようになったことを除けば、日々平和に暮らしています。

そんなわけで、我が家には毎年この時期になるとひな人形が飾られます。母が大切に扱い、保管してくれていたお陰で、十五年以上たった今も新品同様の状態です。人形を置く台を組み立てるのがけっこう大変だそうで、常に「めん

『わが家のひな人形』

どくさい」とこぼしていた母ですが、ついに昨年「今年を出すのをやめようかな」と言い出しました。

『ひな人形』と『結婚』の『因果関係』を気にし始めていた私は、自分が手伝わない無責任さを棚に上げ、「階段にでも置いたら」と言い残して会社に出勤したのですが…それは忠実に実行されました。その日帰宅した私を待ち受けていたのは、階段の五段目までを占領

し「おまえのせいだ」と言わんばかりのひな人形の面々。部屋が二階にあるため「バチ当たり」という家族の声を背に、そのすき間を縫うように階段の昇り降りをしたのですが、夜中になると、ひな人形が白酒を呑みながら文句のひとつも言っているような気がして、臆病な私はトイレを一度ほど我慢してしまいました。

数日後、人形は片づけられ、何もなかったように一年が過ぎました。今年、我が家のひな人形はどのような登場の仕方をするのでしょうか。ひよっとしたら昨年のひどい仕打ちに耐えかねて、秘かに私への復讐を考えているかもしれない。非常に心配なので、今年も私も手伝うことにします。

ちなみに、以前我が家には三匹の鯉のぼりもありました。女孫ばかりなので本来は必要のないのに、かわいい(?)孫のために祖父が買い求め、そして、こどもの日が近づくといち早く空に泳がせてくれた—実に心温まるエピソードですが、ただ、普通と少し違うのは、その三匹がいずれも『ピンク色』だったということです。

※次の「まのちの声」は、伊茶仁の大菅晴美さんです。

編 集 の 窓

▷新町民へのインタビューは今月号で終了。新しい企画で張り切ってはみたものの最初の頃はなれない取材で何を聞こうか、インタビューする自分が沈黙する場面も…。その後、どのようにまとめようかと頭をかかえたことも。▷その甲斐あってか、皆さんから「おもしろい企画だ」「自分たちでは気がつかなかったことがあり、考えさせられた」などご意見をもらい、「うん」と自分も納得。思わず胸の中で手をたたいてしまった。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。▷4月号から新しい企画を考えています。「さて、どうしようかな?」が本音。▷広報の特派員募集中。あなたも広報紙づくりに参加しませんか。(ひ)

戸籍の窓口から

(1月15日~2月16日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保 護 者
神内 窓花ちゃん	桜木町	神内義輝・理佳
工藤 湧くん	薫 別	工藤雅一・和江
須田 将天くん	東古多糠	須田良紀・美佐子
長谷川遥香ちゃん	若草町	長谷川 勝・なぎさ
江口 和美ちゃん	望ヶ丘町	江口公尋・かよ子

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
松山キヨノさん	川上町	80歳
安達浅雄さん	南川北	80歳

人のうごき

平成7年2月1日現在

()は前月比

人 □ 6,853人 (-8)

男 3,323人 (-7)

女 3,530人 (-1)

世帯数 2,320世帯 (-3)

町内の交通事故

2月()は累計

人身事故 1件(2件)

負傷者 1人(2人)

死亡者 0人(0人)

物損事故 20件(34件)

死亡事故ゼロの日

61日(2/15現在)